

「第82回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

➤開催日時：令和6年5月8日（水）14時00分～15時00分

➤出席人数：会場10人（欠席10人） 傍聴：2人

1 令和5年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績状況（報告）

資料1－①②について公共交通課から説明

質疑

- ・大沼ルートに乗車人数が令和4年度よりも減っているが理由は。
→（公共交通課）運行ルート上で3か月程工事があり、う回運行していたことから運行距離が延び、運行時間が増えたことが影響していると考えられる。
- ・乗車実績のデータは、今後も取り続けるのか。
→（公共交通課）現状や経年変化を把握する必要があることから、データは取っていく。
- ・乗車実績を分析するには、人口動態を把握する必要があると考える。年齢構成や人口動態については、国勢調査のデータを活用できるのでは。
- ・小平市の人口という統計書には、町丁別年齢別人口データがあるので、これを活用できる。

2 乗合タクシー（デマンド型交通）の実証実験運行に向けた準備について（検討）

（1）周知・PR方法

乗降場所のプレート案について、3案提示し参加団体の意見をまとめた結果、1番多かった案1に決定した。今月末を目途に、乗降場所にプレートを設置していく。

質疑

- ・アプリの登録体験会を予定しているが、登録は1回だけすれば良いので、予約の方法を知ってもらう方がより大事と考える。予約の画面はいつから見る事ができるのか。
 - ・予約の画面を早く見たい。予約の方法を知ってもらう必要がある。
 - ・高齢者は専用サイトによる登録が困難だと思われるので、申請書による登録を進めていくことが大事である。
 - ・利用登録申請書には、ID、パスワードの記載が無いので、申請書で登録した人は、専用サイトから予約ができないのでは。
→（公共交通課）IDについては、登録を容易にするため、電話番号で設定することを考えている。パスワードについては、暗証番号という表記をしている。
 - ・申請書で登録した後、予約専用サイトから予約する際には、ID、パスワードの入力が必要になるので、申請書の表記については、予約専用サイトに合わせた方が良い。説明が必要である。
- （座長）申請書の電話番号欄に、IDを兼ねるという注記を付けてはどうか。
→（公共交通課）表記については追記する。申請書で登録した人も、予約専用サイトから予約ができることが分かるように案内する。

- ・高齢者はスマートフォンからの登録は難しいのでは。難しいから登録しないということにならないように、申請書を提出することで登録できることを周知するのが大切である。
→（公共交通課）チラシでは、スマートフォンから登録することについて説明しているが、パソコンからも登録できるので、今後、登録方法について案内していく。
- ・5月10日から利用者登録ができるので、より多くの方に登録してもらうことが必要である
→（公共交通課）より多くの方に知っていただくことが大切なので、行きつけや、顔なじみの店舗など、チラシの配布やポスターの掲示に協力してもらえそうであれば、教えて欲しい。市から協力の依頼をする。広く周知していきたい。
5月7日から利用者登録が始まっているが、運行が始まる6月10日以降も、説明する機会があれば、出向いていきたい。
- ・自分が入っている自治会では、チラシや申請書を回覧する際に合わせて、申請書に記入してもらい、まとめて市へ提出することを考えている。
- ・申請書には個人情報を入力することになるので、回覧の際に記入してもらうのは難しいと考える。それぞれの自治会で進めやすい方法で取り組んでももらえば良い。
- ・実証実験運行の期間は1年間なので、より多くの方法で、早く周知していくことが必要である。
→（公共交通課）本日、自治会への一斉文書送付に合わせて、チラシと申請書を南西部地域の全ての自治会へ班数分、回覧するように送付する。申請書については、コピーして対応してもらうが、足りない場合は連絡をいただければ送付する。南西部地域内の地域センターに配布したので、入手することができる。自治会に入っていない人に対しても、5月5日号の市報で利用者登録方法について案内しており、掲載したQRコードから専用サイトで登録できるようになっている。
今日、チラシと申請書のセットを用意しているので、自治会などで配布に協力していただける方には、会議終了後、お渡ししたい。
- ・自治会の無い地域への周知も必要である。
→（公共交通課）地域説明会については、会場の予約を取り、説明会の準備を進めていく。
- ・上水新町地域センターや小川町一丁目地域センターでの説明会の日程が決まったら、知らせたい。開催の周知に協力していきたい。
- ・学校関係者を通じて、小学生の父兄にお知らせすることも考えてみてはどうか。同居の高齢者がいればPRにつながる。
- ・PTAや青少隊を通じて周知・PRすることもできるのでは。
父兄や若い世代への周知・PRをしていくことも必要では。
- ・コミュニティタクシーの実証実験運行の際は、考える会のメンバーが、第十二小学校の役員だったので、チラシの配布について協力してもらった。
- ・6月10日から運行開始するが、登録者数を把握しておく必要がある。登録者数が少なければ、様々な機会を捉えてPRするなど、周知方法を工夫していかなければならない。

3 その他

(1) 市からの情報提供

- ・環境グリーンフェスティバル2024の開催について
開催日時：令和6年5月12日（日）午前10時～午後3時
開催場所：中央公園、ふれあい下水道館
→公共交通の案内・利用促進、乗合タクシーのPRを行う。
- ・バスとタクシーのひろば in小平2024の開催について
開催日時：令和6年5月25日（土）午前11時～
開催場所：ブリヂストン イノベーションギャラリー駐車場
→開催内容の説明、ボランティアとしての協力依頼を行った。

(2) 参加団体からの情報提供

特になし

【今後の予定】

第83回 令和6年6月12日（水）14時～ 小川公民館 ホール

次回は、

- ・乗合タクシーの実証実験運行に当たっての、周知・PR方法の検討